

コオニヤンマがオニヤンマを捕食

境 良朗

コオニヤンマ *Sieboldius albardae* Selys, 1886はサナエトンボ科に属する大型のトンボである。サナエトンボ科は日本には15属27種を産し、多くは河川などの流水域に棲むものが多い。対馬では本種と小型のダビドサナエのわずか2種しか生息しておらず、対馬の流水性のトンボ相の貧弱さを如実に物語っている。

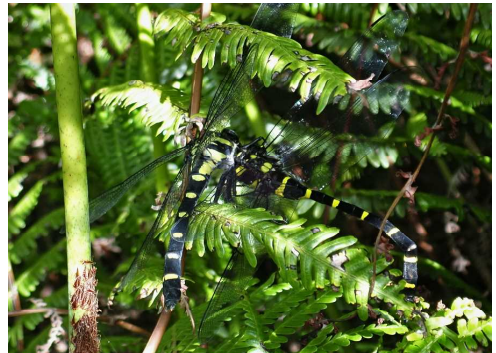
本種の摂食行動について石田（1969）、浜田・井上（1985）、石田ほか（1988）などの主立った文献には全く触れられていないが、尾園・川島・二橋（2022）によると、「獰猛で、長い脚を活かしてトンボを含む大型昆虫も捕食する」という。またネット上にはセミを捕食したという記事も散見される。筆者はオニヤンマを捕食しているところを観察しているので報告する。

【撮影データ】

・1♂，対馬市厳原町椎根，22. VII. 2022

足下から大型ヤンマの連結個体が飛び出したのでよく見ると、何と本種♂がオニヤンマ♂を狩っていた（写真）。本種が小型のトンボを好んで捕食することは知っていたが、流石に自分より大きなオニヤンマを襲う行動に驚かされた。

最後になるが、発表を勧められた尾園暁氏にお礼申し上げる。



オニヤンマを捕食するコオニヤンマ

参考・引用文献

石田（1969）．原色日本昆虫生態図鑑（Ⅱ）トンボ編，p ．保育社．大阪

石田ほか（1988）．日本産トンボ幼虫・成虫検索図説，p ．東海大学出版会

浜田・井上（1985）．日本産トンボ大図鑑，p ．講談社．東京

尾園・川島・二橋（2022）．ネイチャーガイド日本のトンボ，p 224-225．文一総合出版